

親切運動の取組について

学校名 射水市立金山小学校
児童数 59名

1 親切運動の取組の紹介

「縦割り活動」

本校は、単級の小規模校である。そのため、小規模のよさを生かした縦割り活動が多く設定されている。登校班、掃除の班だけでなく、1年生が生活科で作った秋ランドに2年生や6年生を招待したり、3年生が1年生に読み聞かせを行ったりするなど、全校が一体となって行う活動が非常に多い。そのため、学年の垣根が低くなり、休み時間には、1年生から6年生までが混ざってドッジボールをしたり、1年生が鉄棒を練習しているのを6年生が見守ったりする温かい姿が学校中でよく見られる。



「子供主体の運動」

3～6年生の「アイデアいっぱい企画委員会」の子供たちが中心となって、学校全体をよりよくするための取組を企画し、実践している。挨拶運動はその一つで、1学期には「あいさついっぱい集会」を企画し、寸劇を交えながらよい挨拶を実演したり、みんなでよい挨拶を実際にやってみたりし、よい挨拶を実践できるように意欲を高めた。2学期には自分たちの挨拶を定期的に振り返る活動を設定し、意識しながら取り組めるようにした。



また、互いのよさを認め合う活動として、「すてきエピソード」を紹介している。全校から募集した「すてきエピソード」を、毎朝の校内放送で紹介している。それに加えて、楽しく1日がスタートできるよう、音楽を流したりじゃんけんを取り入れたりするなど工夫をしており、朝から気持ちのよいスタートを切ることができている。

「よさを全校に広める取組」

射水市全体で毎月25日を「あったか家族の日」と定めている。そのすてきな取組を広める活動をしている。保護者にも呼びかけ、各家庭で取り組んでいる様子の写真をメールや学習専用端末を用いて提出してもらっている。集めた取組の様子は、全校の目の届くところに掲示している。掲示してある取組は、子供たちが自然に目を通し、次の取組の参考にし、友達同士ですてきな取組を認め合うきっかけとなっている。また、給食の時間に、ビデオ放送で、すてきな取組をした人たちにインタビューをし、よい取組を広めている。司会も希望者の子供が務め、温かい雰囲気の中、取組を紹介している。



2 親切運動に取り組んで

・取組の成果

子供たちの願いをもとに活動を企画することで、子供が主体となったさまざまな親切運動を行うことができた。温かい雰囲気を学校全体につくっていくことによって、思いやりの気持ちが育ってきた。

・課題と今後に向けて

伝統的に続いている活動が多いことで、活動がマンネリ化してしまうことがある。よさは残しつつ、子供たちからアイデアを引き出し、工夫していく必要がある。